

新図書館建設用地取得契約を議決	…2 P
9月定例会一般質問 5人が登壇	…3 P
委員会報告	…5 P
視察報告「議員定数と報酬を考える」	…7 P
市民の声	…8 P

時空の街 旧北国街道の賑わい

こんにちは 野々市市議会です

議会だより
3号
2014年(平成26年)

新図書館建設用地取得契約を議決 旧県立養護学校建物解体の請負契約も

9月
定例会

新市立図書館を中心とした生涯学習複合施設建設用地として、旧県立養護学校跡地（大平寺、本町地内）17,253.33㎡を石川県から2億6420万円で取得する契約、及び旧学校建物解体のための請負契約を株式会社宗重商店（金沢市）と2億3112万円で締結することを全会一致で議決しました。

平成26年度補正予算及び平成25年度各会計決算も可決・認定

「子ども・子育て支援新制度」関連3条例も

平成26年9月定例会を9月4日から9月26日までの23日間の日程で開会し、市長提出の平成26年度一般会計補正予算、平成25年度の各会計決算認定を求める議案、来年4月から施行される「子ども子育て支援新制度」に係わる学童保育事業や小規模保育事業などの設置基準となる3つの条例案など22件、議会議案1件を審査し、全会一致ないしは賛成多数で可決・承認しました。

また、人事案件の公平委員会委員、教育委員会委員については全会一致で同意し、人権擁護委員会委員については全会一致で承認しました。

人事（全員賛成）	
▼公平委員会委員	北村 正樹（66歳） 押野 一丁目
▼教育委員会委員	荻野 直子（48歳） 太平寺二丁目 松野 勝夫（70歳） 三日市町
▼人権擁護委員会委員	宮城 邦子（68歳） 本町一丁目 岡田外志枝（65歳） 堀内三丁目 池田千可子（63歳） 新庄三丁目

9月議会で審査された案件

議 案 名			議 決 結 果
議案第40号	平成26年度野々市市一般会計補正予算（第2号）について		可決
議案第41号	平成26年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第1号）について		可決
議案第42号	平成26年度野々市市下水道事業特別会計補正予算（第1号）について		可決
議案第47号	平成25年度野々市市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定
議案第48号	平成25年度野々市市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決
議案第49号	平成25年度野々市市水道事業会計決算認定について		認定
議案第50号	野々市市税条例等の一部を改正する条例について		可決
議案第51号	野々市市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について		可決
議案第56号	財産の取得について		可決
議案第57号	市道路線の認定について		可決
議案第58号	野々市市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意
議案第59号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意
議案第60号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意
議案第61号	工事請負契約の締結について		可決
諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて		適任
諮問第3号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて		適任
諮問第4号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて		適任
議会議案第6号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書		可決

議 案 名		西本政之	中村義彦	杉林 敏	金村哲夫	辻 信行	川 哲郎	早川彰一	尾西雅代	平野政昭	土田友雄	西田治夫	大東和美	田中昭一	北村成人	岩見 博	議 決 結 果
議案第43号	平成25年度野々市市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	認定
議案第44号	平成25年度野々市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	認定
議案第45号	平成25年度野々市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	認定
議案第46号	平成25年度野々市市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	認定
議案第52号	野々市市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	可決
議案第53号	野々市市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	可決
議案第54号	野々市市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	可決
議案第55号	野々市市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	可決



尾西 雅代 議員

Q 度重なる国内の土砂災害から学ぶ 野々市市の防災

A 重点目標の「避難所の周知」と「避難経路の把握」について一定の成果があった

【質問】 市の防災訓練の成果や課題等について伺う。

【市民生活部長】 この度の訓練の特徴は町内会が主体となり独自訓練の企画から実施に至るまでを行った。重点目標だった「避難所の周知」

【市民生活部長】 災害により生計の中心となる者が亡くなった場合500万円、そのほかの場合は250万円を災害弔慰金として支給するが本人申請の必要はなく市の調査によって支給する。災害援護資金は、被害の状況により150万円から350万円までの範囲として、償還期間は10年以内で借入希望者からの申し込みで貸し付ける。

学校プールの早期改修を求める

【質問】 「避難経路の把握」について一定の成果があったものと思う。課題はアンケートを実施しているので今後、地域防災計画に反映させたい。

【質問】 経年劣化が進む小中学校プールについて計画的に早急に改修を進めるよう検討できないか。

【質問】 防災計画書に災害弔慰金の支給等に関する条例がでていますが実際の場合、災害弔慰金の支給や災害援護資金の貸付について支給金額、手続き方法はどのようなのか。

【市民生活部長】 罹災され

【質問】 被災された方個人への公費支出について支援金が個人の財産形成に補助されるといふ話もあるが、想定される救済の範囲と水準について伺う。

【市民生活部長】 罹災され



御園小学校のプール



西本 政之 議員

Q 新教育委員会制度について 市長の考えを問う

A 政治的中立性は確保されなければならないと考える

【質問】 改正地方教育行政法において、首長の権限が強化される中、総合教育会議と教育の政治的中立性確保について、市長の考えを問う。

公立松任石川中央病院の増改築について

【市長】 教育における政治的中立性、継続性、安定性は確保されなければならないと考えている。市長として今回の改正法の趣旨を重く受けとめ、総合教育会議においても私と教育委員が真摯に協議を行い、よりよい教育行政の実現にまい進することが使命であると考えてる。

【市長】 教育における政治的中立性、継続性、安定性は確保されなければならないと考えている。市長として今回の改正法の趣旨を重く受けとめ、総合教育会議においても私と教育委員が真摯に協議を行い、よりよい教育行政の実現にまい進することが使命であると考えてる。

【質問】 議会や住民への情報提供を行いつつ策定せよ。

【質問】 計画の進捗状況を伺う。

【総務部長】 今年度より準備を進め、国のインフラ長寿命化基本計画に基づき策定したいと考える。遅くとも平成28年度までに策定したいと考えている。

【質問】 公共施設等の情報を管理・集約する部署を設置して取り組め。

【総務部長】 まずは公有財産を総括する課を中心に公共施設等総合管理計画を策定する予定である。将来的には、各部課を横断して総合的に管理できるよう、新たな部署の設置も含め検討したい。

【質問】 議会や住民への情報提供を行いつつ策定せよ。

【総務部長】 今年度より準備を進め、国のインフラ長寿命化基本計画に基づき策定したいと考える。遅くとも平成28年度までに策定したいと考えている。

【市長】 市民の皆さまのご意見を伺うなど作成の各段階であっても、十分な情報提供を行っていくことが必要と考える。

【市長】 介護保険制度や地域密着型サービスなどについて、機会を見つけて市民に周知していきたい。



議員 信行 辻

Q 明倫高校周辺に自転車通行帯の検討を

A 自転車通行帯表示にかわる安全対策を調査研究したい

質問 今後の人口増加と高齢者増加を考えると、現状の道路網で自転車と歩行者がより安全な通行ができないものか。特に明倫高校周辺には自転車通行帯を取り入れることも大事なことでないか。

産業建設部長 野々市明倫高校周辺における既存の道路幅員では、車道部が比較的広い箇所もあるが、自転車通行帯の設置について

質問 団塊世代の自動車から自転車への移行が始まれば、人口密度の高い本市において自転車事故があるいは歩行者事故が大変懸念される。本市における自転車事故、歩行者事故の交通事故件数に占める割合は、全国での比率とほぼ同じ数字であるが、この状況をどのように捉えるべきか。

市長 本市における自転車事故について、これまで

質問 交通安全対策及び経費の節減につながり、また犯罪被害を未然防止することも期待されるLED化を積極的に進める考えはないか。

市民生活部長 町内会が管理している公衆街路灯については、新設及び取りかえに對して町内会の申請に基づき補助金を交付している。

質問 地球温暖化対策及び経費の節減につながり、また犯罪被害を未然防止することも期待されるLED化を積極的に進める考えはないか。

市民生活部長 町内会が管理している公衆街路灯については、新設及び取りかえに對して町内会の申請に基づき補助金を交付している。

質問 地球温暖化対策及び経費の節減につながり、また犯罪被害を未然防止することも期待されるLED化を積極的に進める考えはないか。

市民生活部長 町内会が管理している公衆街路灯については、新設及び取りかえに對して町内会の申請に基づき補助金を交付している。



朝の通学風景

街路灯のLED照明への交換について

質問 交通安全対策及び経費の節減につながり、また犯罪被害を未然防止することも期待されるLED化を積極的に進める考えはないか。

市民生活部長 町内会が管理している公衆街路灯については、新設及び取りかえに對して町内会の申請に基づき補助金を交付している。



議員 和美 大東

Q スポーツ施設の民間活用を提案

A 今のところ民間施設の活用は考えていない

質問 人口が増え、スポーツ施設にたいする市民の要望は多く全てにこたえていける環境にはない。新たな施設をつくるコストを考へるなら、葛飾区のプラチナフィットネス事業を参考に、民間の専門分野のノウハウも生かし、市民参加型の新しい事業として取り組んではどうか。

教育文化部長 スポーツの普及を図るため、本市では誰もが気軽にできるトリプルソフトバレーなどニュースポーツを取り入れ、多くの方が生涯にわたってスポーツに親しんでもらえるよう努めている。今後とも市の施設を有効に活用して、多様なスポーツの普及と、市民の皆さんの健康維持に努めていきたい。

質問 8月の集中豪雨による市内2か所の被害地域の復旧と対策を伺う。

産業建設部長 17日早朝の局地豪雨で長池地内の安原川が氾濫し住宅が浸水した。その際に、曲線となっている川底河床がえぐられ、民有地が陥没する被害が発生した。また、フォルテ裏の毛勝川の水が逆流しコミュニティ道路も冠水した。安原川については管理者である石川県が川底河床を補強する洗掘防止対策工を既に終えている。毛勝川については、今年度、県が完了することから、今後の水位変動を見定めていきたい。



毛勝川とコミュニティ道路

地域活動ポイント制度の導入を

質問 地域包括ケアシステムに向けた取り組みに、高齢者ボランティア（地域活動）ポイント制度を導入できないか。

健康福祉部長 有効な方策と考えるが運営にあたっての課題もある。社会福祉協議会と検討しているところである。



議員 博 岩見

Q アンケートの子育て支援の拡充を求める声に応える考えは

A 子育てしやすい環境づくりを目指して施策を進めている

質問 私がやっている市民アンケートで、子ども4人を育てる30代女性から「住みやすさ3位の割にはそんなに住みやすいとは思わない。若い人が多い割には子育て支援が他市町村より遅れている。少子化が進むのも無理ないと感じる。もっと子育て支援や教育に力を入れてほしい」という声が寄せられている。ほかにも同様の声がいくつも寄せられている。市長はこうした市民の声にどう応えるのか。市長の子育て支援策を聞く。

健康福祉部長 本市は、子どもを産み育てやすい環境づくり、子育て支援づくりを目指して施策を進めている。多子世帯への保育料減免などは従来通り行っていく。

質問 8か所あった公立

保育料上乗せ徴収は厳しく制限せよ

質問 子ども子育て支援新制度で、際限なく保育料の上乗せ徴収ができるようになるが、今でも高い保育料負担がさらに増えれば家計が大変になる。上乗せ徴収は厳しく制限すべきではないか。また、市独自の保育料軽減策はどうか。

健康福祉部長 私立の保育園については市の同意が必要で、家庭の負担が増えないよう保育事業者にも注意していきたい。市独自の保育料軽減策については、非課税世帯は現行より増えないよう設定していきたい。

質問 市民の要望に応えることができる図書館づくり、高いレファレンスサービス提供能力を有する司書を育てるなどの要をなすが館長で、有能な館長を公募で求める考えはないか。

教育長 指定管理者制度導入ということになれば公募の手段はなくなるが、市の同意を求めているものにするなど、検討していきたい。

保育園が次々と民営化され、4か所を残すのみとなった。市長はすべてを民営化するのか。これ以上の民営化の中止を求める。

市長 公立保育園の民営化を進めることで保育サービスの水準、向上を図ることができると考えている。そのような理由から方針を変えるつもりはない。

質問 市民の要望に応えることができる図書館づくり、高いレファレンスサービス提供能力を有する司書を育てるなどの要をなすが館長で、有能な館長を公募で求める考えはないか。

教育長 指定管理者制度導入ということになれば公募の手段はなくなるが、市の同意を求めているものにするなど、検討していきたい。

総務常任委員会

市総合防災訓練54町会4千人参加

▼環境安全課より、8月24日（日）、午前8時から市内54町内会ごとの集団避難訓練が行われ、市民の約8%にあたる4千人あまりが参加し、避難者名簿の作成や避難所までの経路



石川県立大学での拠点避難訓練

旧県立養護学校跡地の取得契約

▼8月11日に旧県立養護学校跡地1万7,253㎡の用地取得の仮契約を石川県と締結し、またこの敷地内に残存する建物の解体撤去工事も9月16日に仮契約したとの報告がありました。

埋め立てゴミ処分場の計画を決定

▼平成26年度末に使用期限を迎える鶴来清掃センターに代わる新しい最終処分場が松任石川環境クリーンセンター北側の小川町に決定したとの報告がありました。

白山石川医療企業団議会から

野々市市議会の9月定例会において大東和美議員が選出され、10月27日（月）午後2時から開かれた白山石川医療企業団議会において承認しました。

白山野々市広域事務組合議会から

10月21日（火）午前10時から開かれた白山野々市広域事務組合議会定例会において平成25年度決算認定ほか4件の議案を審議・可決しました。

健康福祉常任委員会

▼子育てあんしん課より、来年4月から施行される子ども・子育て支援新制度における野々市市の認可・確認基準について説明がありました。

③ 保育事業者等が給付を受けるためには、認可に加え、市による確認を受ける必要がある。暴力団を排除する規定を設ける。

主な認可基準は次の通りです。

① 放課後児童クラブ（学童クラブ）の児童一人当たりの面積を概ね1・65㎡とし、定員を概ね40人とする。既存施設については経過措置を設ける。

コンビニ健診——若い人に受診を呼びかけ

② 地域型保育事業では、野々市市における保育の質を確保するため、家庭的保育者は「保育士資格」を有するとし、施設については、医務室及び沐浴設備を備えること。保育時間を設定する際は、事業

▼若い人に健康への関心を持ってもらうきっかけづくりの事業として、11月8日（土）に「ローソン御経塚北店」を会場に健診を実施するとの報告がありました。

教育文化常任委員会

▼中央地区土地利用の概要説明があり、学びの杜ゾーン（県立養護学校跡地）に新図書館、ギャラリー、工房、会議室を設ける。

にぎわい交流ゾーン（写真Ⅱ旧町役場跡地周辺）を公民館、公共サービス、歴史展示スペース、特産品の販売、民間活力拠点、産学官連携の拠点とする。



「にぎわい交流ゾーン」となる旧町役場周辺

ンボルとなるよう、野々市ブランドの創出・発信の場とし、「まちなかの賑わい」を取り戻し、市民全体の満足度の向上を図っていききたいとの報告がありました。

予算特別委員会 分科会審査

▼9月定例会予算特別委員会の分科会審査の質疑が行われ、「いしかわ学びの指針12か条推進事業」で野々市小学校が「かかわりながら学び 高め合う子」を主題とした研究授業を、「石川道徳教育推進事業」で富陽小学校が「自から学ぶ 意欲的な子」を主題とした道徳教育を行っているとの説明がありました。

産業建設常任委員会

8月豪雨——人的被害はありませんでした

▼金沢地方気象台で観測した8月総雨量が27日現在で497㎜と8月平均雨量の3・5倍となっているという報告がありました。全国的に甚大な被害をもたらした豪雨によって、野々市市においても安原川の護岸の陥没や道路の冠水などがありました。人的被害はなかったとの報告がありました。

予算特別委員会 分科会審査

▼9月定例会の予算特別委員会分科会審査の質疑が行われ、交通安全上も街路樹の維持・管理をしっかりと行うよう求める意見が出され、担当課長から、現在は、街路の低木は植樹しない方法をとっていることや、高木については、木の特性を研究しながら維持管理に努めていきたいと説明がありました。

▼8月10日に組合設立総会が行われました。9月26日にはコストコの建設予定地も含まれる土地画整理事業、建設工事の起工式が行われ、市長、市議会議長をはじめとする関係

議会運営委員会 行政視察

10月8日から10日にかけて野々市市と同様の人口密度、面積、財政規模を前提に視察先を選定し議員定数と報酬に特化した視察研修を行った。

滋賀県栗東市議会

栗東市は1983年から27年連続不交付団体で財政の良好な市だったが2008年以降、景気の低迷と併せ新幹線問題から用地凍結・事業取り止めなどにより市財政がひっ迫し議員報酬を議員一人当たり月額31万円（実支給額30万円）に抑えた。議員定数は18人で3常任委員会に6人ずつだが現行では議論できるぎりぎりの人数である。昭和30年代から54年頃までの人口増時代には定数16人から22人に増加したが平成10年9月議会で、行政改革が進む滋賀県内を比較して議員数が多いことから定数減少条例で22人を20人とした。その後、減少条例を廃止し定数条例を制定。危機的財政により22年6月議会には、定数20人から16人とする定数条例の一部改正に対して18名にする修正動議が可決されるなど、議員定数と報酬をめぐる大きな変動があった。また議会改革の提言書を改選後の議会に送ることで次年度に改革を

引き継ぐなど参考となる運営事例を学んだ。

滋賀県野洲市議会

野洲市の議員報酬は、平成25年3月まで議員一人当たり月額35万円であったが25年3月議会で議員一人当たり月額30万円と栗東市と同額とした。議員定数は平成16年2町合併により34名、18年3月議会には20名で可決し同時に提出された18名の定数条例を否決した。その後、元議員18名の連名で提出された削減に関する請願が否決されるなど変動を繰り返すも現在20名を維持している。また平成22年制定の議会基本条例の議員定数に関する項目に「多様な民意を反映した相当数の議員で構成される市民の代表機関」とし、議員報酬については「報酬の改正に当たって議員が議案を提出する場合には市政の現状並びに将来の予測及び展望を十分に考慮する」と盛り込んだ。市民と議会の関係性や議会と行政の関係性を意識しながら議会の権能と市民の意思を反映しておりバランス感覚の良い議会だと感じた。

京都府城陽市議会

城陽市議会の議員報酬は平成8年

が一番高額な時代で議員一人当たり月額47万円だったが15年12月議会では18年12月までの時限条例で議員報酬の3%を削減した。その後、18年3月議会で時限条例を廃止し特別職報酬等審議会の答申で議員一人当たり月額44万5千円となった。議員定数は昭和47年市制施行当時、定数28名であったが平成7年3月議会で定数4減の請願があり、結果2減の26名となる。14年に2減、18年に2減、22年9月議会では議員定数を若干名を減ずる請願が提出され2減の20名となり現在に至っている。



城陽市議会にて

大阪府四条畷市議会

四条畷市議会の議員報酬は三位一体改革により行財政改革が進められた平成15年10月以降、当分の間3%減額としたが18年4月には5%減額となり平成25年4月からは任期満了

12月定例会の日程が決まりました

▼期間 12月3日（水）～19日（金）までの17日間
▼開会日 12月3日（水）午前10時～
▼一般質問 12月10日（水）午前9時30分、及び12月11日（木）午前9時30分、但し一般質問者の数により1日間のみ
▼予算特別委員会 12月12日（金）
▼各常任委員会及び分科会 12月15日（月）
12月16日（火）
12月19日（金）午後2時～



野々市が住み良さランキング3位と発表され、素直にうれしい気持ちになります。住み良い街づくりは私たち住民一人一人が主役ですが、そのための活動を議員がどのように

子どもの無限の可能性信じ保育士に 清水 うめ子さん(栗田四丁目)

行っているかには興味があります。その実態を知る上でもこの議会だよりは広報「のいち」では載せきれないことが掲載されていて読み応えがあります。

私はずっと保育園で仕事をしてきました。保育園内では様々な研修を通して次世代を担う子ども達を育ん

でいます。もっと現実的にいうと「20年後、30年後に親になり子どもの無限の可能性を信じた子育てができる子どもに育てる」という事です。子育ての良い連鎖が一人一人の幸せにつながり、ゆくゆくは市の発展につながると信じています。

「この街に住んで良かった」と、実感できる内容で、市民の意見や議員の活躍がたくさん掲載される、そんな『議会だより』を今後も作っていただきたいと期待しています。



住みよい街 野々市に住んで

谷廣 いずみさん(矢作三丁目)

私は、結婚した後しばらく野々市で暮らしていましたが、その後野々市を離れることになり再び戻ってきたのは5年前です。

10年以上ぶりに生活してみると、スーパーや美容院、コンビニなどが驚くほど増えていて、便利になりとても助かっています。以前は無かったコミュニティバス『のっティ』も、おかげさまで大学生になった長女が通学などに利用させてもらい、家族も福祉施設を時々利用し、いろいろな所で大変

お世話になっています。

便利になった今でも、まだまだ私の住んでいる矢作では田んぼが残っていて、春にはカエルの声が聞こえ、田舎で育った私は心がおだやかになり、このような自然もこのまま大切に残してほしいと思います。

何度か、議員の皆さまの一般質問を拝聴させて頂き、市民のためのきめ細やかな心遣いを感じました。議員の皆さまには、愛情をもって、野々市市がもっとより良い街

になるよう頑張っておられることを心から期待しています。



編集後記

○岩見 博

「議会は何をしているのか知らない？」よく耳にする声です。日常生活に忙殺されている市民の皆さんにどうすれば読んでもらえるか。議会が行っていることを伝えられるか。そんな思いで携わっています。

○辻 信行

議会だより第3号を皆さまにお届けする十一月は、市政施行三周年の月でもあります。まだ三年？もう三年？感じ方はいろいろあるかと思いますが、市議会の活動に関心を持っていただけるような内容・紙面づくりに工夫を重ねていきたい。

表紙説明

旧北国街道の要衝として栄えた本町通りを無電柱化して、郷土資料館や喜多記念館など旧家とともに昔の面影を醸し出しています。近年、野々市の市「が」開催され賑わっています。

